

問題を整理し法案を作成した



7月8日、法学部主催の法教育プロジェクトが、法学部の1〜4年次生16人が、それぞれのテーマについてグループに分かれ、弁護士とともに配付資料をもとに社会課題について議論し、法案の作成に取り組んだ。

第二東京弁護士会と埼玉弁護士会から4人の弁護士を招き、「ジェンダー」と「熊被害から考える自然との共存」の二つのテーマを取り上げた。法学部の1〜4年次生16人が、それぞれのテーマについてグループに分かれ、弁護士とともに配付資料をもとに社会課題について議論し、法案の作成に取り組んだ。

法教育プロジェクト 社会課題を弁護士と議論

地域の子どもたちが「ラボ」を体験



地域の小中学生に体験提供

ネット情報・ICT教育ラボ 大学を見に行こう！

子どもたちが大学の学「大学を見に行こう！」を体験するイベントが7月31日、生田キャンパスで開催された。ネットワーク情報学部の教育プログラム「ラボ」の一つであるICT教育ラボ(指導員小田切健太准教授)と川崎市の三田こども文化センターの共催。小中学生約30人が参加し、大学生による研究や活動に触れた。

ラボはネットワーク情報学部の新しい学びと実践の場で、学年横断で研究に取り組む。今回のイベントには、ICT教育ラボのほか、三つのラボと必修演習科目「プロジェクト」が協力し、ロボットプログラミング体験、デジタル工作機器の見学、無人コンビニでの買い物、学生が制作したゲームの体験が行われた。石黒希海さん(3年次)はこのイベントは、子どもたちと学びを共有する場。自分たちの成果に触ってもらい、楽しんでいきたいと思います」と話している。



無人コンビニで買い物に挑戦

ゲームで学ぶSDGs

専大生と高校生が 未来の社会を考える



他チームと協力しながらSDGsの達成を目指した

高校生を対象にしたイベント「SDGsカードゲーム」大学生と一緒に考える2030年の私たちの地域が8月4日、サテライトキャンパスで行われた。高校生14人と、付属高校と教育交流のオリジナルコンテンツ

学生団体「Hi-Yo」の会に所属する学生が、ゲームや対話を通じて、自分たちが主役となる未来の社会について考えた。今回のイベントでは、損害保険ジャパン株式会社のオリジナルコンテンツを使ったワークショップを実施。専大生と高校生がペアを組み、ゲームを楽しみながらSDGsの理解を深めた。

ゲーム終了後には、専大生と高校生による座談会の時間も設けられた。和気あいあいとした雰囲気の中、授業やアルバイトなど大学生活についての話題で盛り上がり、SDGsに関心があり、参加した。ゲームの内容と現実の社会が連動している学びを深めることができた」と感想を述べた。

地域とともに

2025専修大学カップ



初優勝

戸塚アイアンボンドス (横浜市戸塚区代表)



佐々木大会会長が優勝旗を授与



スポーツを通じて子どもたちの健全育成を支援する「2025専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会」(神奈川県野球連盟共催)が、8月8日から15日まで県内の4球場で開催された。各地区の代表54チームが熱戦を繰り広げ、15日に大和スタジアムで行われた決勝戦で、戸塚アイアンボンドス(横浜市戸塚区)がサンダースJBC(相模原市)に11-2で勝利し、初優勝を遂げた。

第19代王者に輝いた戸塚アイアンボンドスには、大会会長の佐々木重人学長から賞状・優勝旗・優勝カップが、神奈川県野球連盟から賞状・優勝盾、横浜DeNAベイスターズから優勝カップが贈られた。3位の久本ブルーエンジェルス(川崎市高津区)と福岡オールスターズ(横浜市金沢区)を含む入賞チームには、記念メダルが授与された。

優勝チームは、8月18日にtvk(テレビ神奈川)の「猫のひたいほどワイド」に出演。また、熱戦の模様は24日、同局で特別番組として放送された。

開閉会式の司会はお笑いコンビ「さくらだモンスター」のマサキさん(平16商)が務めた。



司会のマサキさん



準優勝のサンダースJBC

